大会名称: **第61回国民体育大会 (のじぎく兵庫国体)**
バスケットボール競技

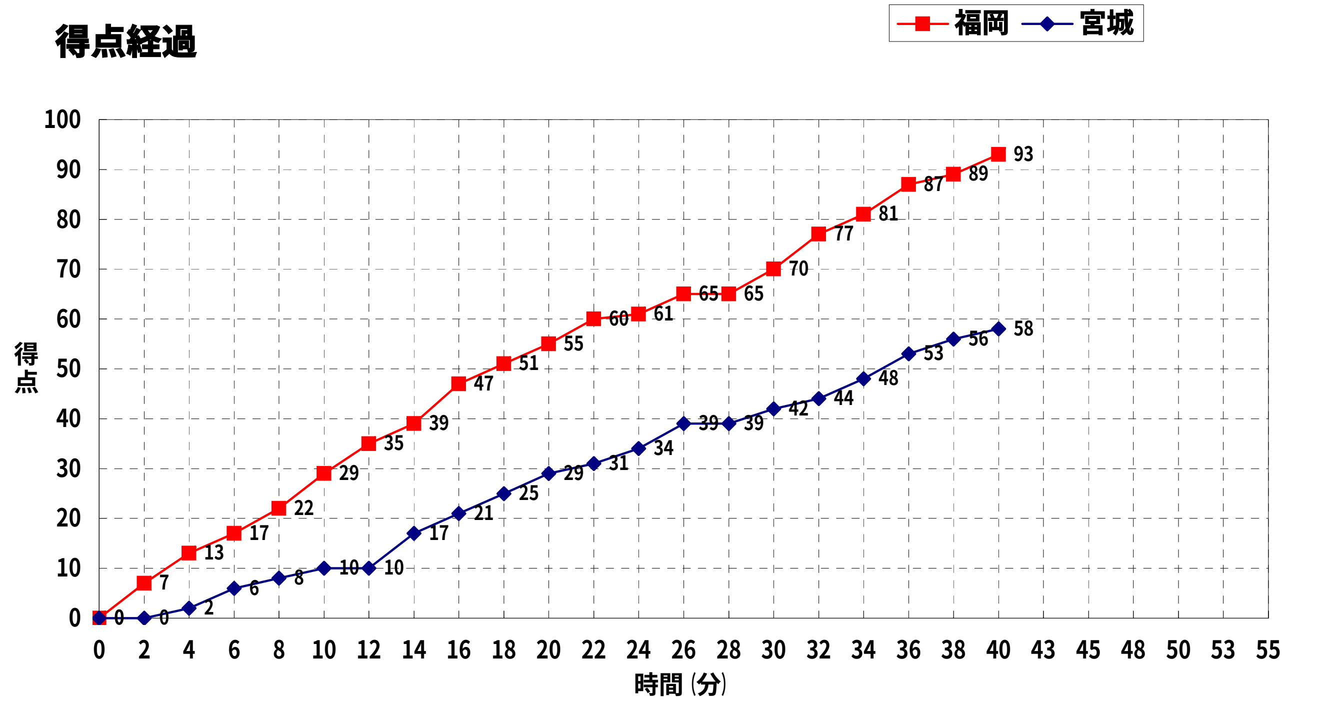
開催場所: グリーンアリーナ神戸　Eコート
試合区分: No. 311 少年男子　準々決勝
期　　日: 2006(H18)年10月2日 (月)　　主審: 小澤　勳
開始時間: 11:55　　副審: 加藤　秀典
終了時間: 13:23

福岡 (九州)	○ 93			● 58	宮城 (東北)
		29	-1st-	10	
		26	-2nd-	19	
		15	-3rd-	13	
		23	-4th-	16	
			-OT1-		
			-OT2-		
			-OT3-		

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		見儀 雅之	5	1	1	0	2
5	*	橋本 竜馬	14	3	2	1	3
6		本村 遼介	6	0	2	2	0
7		田中 大輔	0	0	0	0	0
8	*	酒井 祐典	11	2	1	3	0
9	*	金丸 晃輔	21	0	9	3	1
10		姚 天翼	8	0	3	2	2
11		久保田 遼	4	0	2	0	0
12		山口 堯彰	13	3	1	2	2
13	*	熊 吉	3	0	1	1	2
14	*	並里 成	2	0	0	2	1
15		早川 ジミー	6	0	2	2	2
コーチ		井手口 孝					
		合計	93	9	24	18	15

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	古澤 貴啓	6	0	1	4	4
5	*	米田 一斗	9	1	3	0	2
6		小川 大智	7	1	1	2	3
7		佐藤 誠	4	0	2	0	2
8	*	佐藤 充宏	9	3	0	0	1
9	*	鈴木 航	2	0	1	0	0
10		澁谷 純平	0	0	0	0	0
11		伊藤 駿	3	1	0	0	2
12		佐藤 琢	2	0	1	0	3
13		佐藤 卓哉	4	0	2	0	1
14	*	中川 真雄	12	0	5	2	2
15		藤井 則希	0	0	0	0	2
コーチ		水木 佳男					
		合計	58	6	16	8	22

S: スターター　PTS: ポイント　3P: 3ポイントシュート　2P: 2ポイントシュート　FT: フリースロー　F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、両チームハーフコートのマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がりから、福岡のディフェンスのチェックが厳しく、宮城はなかなか点がとれず、3分経過して福岡#9金丸の速攻やリバウンドなどで10-0とリードされる。その後宮城のシュートも決まりだすが、ペースは変わらず、29-10の福岡19点リードで第1ピリオドを終了。
第2ピリオドも両チーム同じディフェンス。立ち上がりから福岡#12山口の3本の3Pシュートなどでリードを広げる。対する宮城は、#4古澤がファウルをもらい、4本連続フリースローを決め、その後5人ともメンバーを変えペースをつかもうとするが、55-29の福岡の26点リードで終了した。
第3ピリオド、宮城はディフェンスをハーフコート2-3のゾーンに変え、追い上げを計る。攻撃では、#8佐藤の3本の3Pシュートや#9鈴木の積極的な1 on 1で加点するが、福岡も#9金丸や#8酒井が得点をあげ、点差は変わらず福岡が28点リードで終了。
第4ピリオド、立ち上がりから宮城はなかなか得点が取れず、一方福岡は#9金丸らが加点していく。残り6分福岡のタイムアウトから宮城はディフェンスをオールコートの2-2-1ゾーンプレスからハーフコートマンツーマンに切り替える。#14中川や#11伊藤、#5米田の3Pシュートで加点するが、福岡は#10姚らが得点を返し点差は縮まらないまま、福岡が93-58で勝利した。

担当者:角田 誠 (兵庫県バスケットボール協会)　　(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会